

## 【日本における妊娠女性の体重増加目標値変更後の体重増加の観察研究】 に対するご協力をお願い

研究代表者 所属 横浜市立大学附属市民総合医療センター  
職名 助教 氏名 小嶋 朋之

このたび、日本産科婦人科学会データベース事業（周産期登録）を用いた下記の医学系研究を、日本産科婦人科学会の許可ならびに横浜市立大学の倫理審査委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんはその旨を、診療を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

### 1 対象となる方

2019年1月1日～2023年12月31日までの間に、妊娠22週以降に分娩した、単胎妊婦で妊娠初期から病院の受診があった妊婦を対象とし、妊娠中の耐糖能異常合併妊娠は除外としました。なお、分娩された病院が周産期登録参加施設であるかは下記のリンクより確認することができます。

周産期登録加盟施設 ([https://jsog.members-web.com/hp/search\\_facility](https://jsog.members-web.com/hp/search_facility))

(登録参加施設は日本産科婦人科学会ホームページにおいて公開)

### 2 研究課題名

施設倫理審査委員会の承認番号 F250600034

日本産科婦人科学会の許可番号 183

研究課題名 日本における妊娠女性の体重増加目標値変更後の体重増加の観察研究

### 3 研究実施機関

横浜市立大学附属市民総合医療センター

### 4 本研究の意義、目的、方法

適切な妊娠中の体重増加の指標は各国から報告されており、日本では、1999年に「妊娠中毒症の栄養管理指針」に「妊娠中の適切な体重増加の推奨」が提案され、以後それに準じ厚生労働省が提案した基準を使用してきました。しかし、日本における出生体重の低下が世界的に問題となってきた背景を受け、2021年3月に日本産科婦人科学会は、日本の妊婦の約24%が登録された日本産科婦人科学会周産期登録データベースから算出した妊娠中の体重増加量の推奨量を新しく提案し、変更しました。

この変更に伴い、妊娠中体重増加推奨量の指導を変更し、実際の体重増加量や低出生体重児率に影響を与えたかは不明です。本研究では、妊娠中の体重増加推奨量の変更前後で妊婦の体重増加量および低出生体重児率が変化したかを検証することを目的としています。

## 5 協力をお願いする内容

日本産科婦人科学会周産期登録データベースに登録されているデータを使用します。

登録時：年齢，妊娠分娩回数，身長，体重，喫煙歴，飲酒歴，既往歴・合併症

妊娠中：産科異常，妊娠高血圧症候群，子宮内感染，前期破水，子宮内胎児発育不全，血圧，  
体重，尿糖タンパク

分娩時母体情報：分娩週数，分娩方法（経膈分娩か帝王切開），出血量，分娩時異常，  
分娩時処置

新生児情報：生産死産，性別，出生時身長，体重，臍帯動脈血 pH，アプガースコア，  
新生児仮死，出生時異常，SGA（small for gestational age），  
新生児集中治療室入院

## 6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2027年3月31日

## 7 プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものか一切わからない形で日本産科婦人科学会から提供され使用します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、【情報の利用や他の研究機関への提供（研究内容に応じて適宜記載）】の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合は診療のために受診された施設へのご連絡をお願いいたします。

研究代表者

横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合周産期母子医療センター

小嶋 朋之

TEL: 045-261-5656

FAX: 045-253-5784

Email: kojima.tom.rb@yokohama-cu.ac.jp